

【宗祖法然上人御法語】

(第七) 諸仏証誠しよぶつしやうじやう

1

ろっぼう 恒沙ごうじゃの諸仏、舌をのべて三千世界に覆いて、「専もはらただ弥陀のみようごう名号を称えて往生すというは、これ真実なり」と証誠しやうじやうし給うなり。

ろっぼう 六方世界の無数の諸仏が、舌を伸ばして三千世界を覆い、「専ら阿弥陀仏のみようごう名号を称えて往生するという教えは、真実である」と証言なさるのです。

2

これまた念仏は弥陀の本願なるが故に、ろっぼう 恒沙ごうじゃの諸仏、これを証誠しやうじやうし給う。

念仏は阿弥陀仏の本願であるために、ろっぼう 六方世界の数限りない諸仏がこれを真実であると証言なさるのであります。

3

余の行ぎようは本願にあらざるが故に、ろっぼう 恒沙ごうじゃの諸仏、証誠しやうじやうし給わず。
念仏以外の行ぎようは本願ではないので、ろっぼう 六方世界の無数の諸仏が真実であると証言することはありません。

4

これにつけても、よくよくお念仏そうろう候うて、弥陀の本願、釈迦の付属、六ろっぼう方の諸仏の護念を深く蒙こうごうらせ給うべし。

このことからしても、しっかりとお念仏なさって、阿弥陀仏の本願、

釈尊の付属、六ろっぼう方世界の諸仏の守護を深くお受けになってください。

5

弥陀の本願、釈迦の付属、六ろっぼう方の諸仏の護念、一々に虚しからず。

阿弥陀仏の本願、釈尊の付属、六ろっぼう方世界の諸仏の守護はそれぞれに、

みな実じつのあるものなのです。

6

この故に、念仏ぎようの行しよぎようは諸すく行すくに勝れたるなり。

それゆえ念仏ぎようの行しよぎようは、ほかの様々な修行より勝っているのです。